第 63 回風景デザインサロン

風景の基盤としての生態系

～河川環境に従事する技術者からみた風景デザイン～

風景デザイン研究会では、会の活動方針にある通り“地域の美しい風景の維持・育成・復元を推進するための活動”を展開しています。私たちが目にする「風景」の基盤には自然があり生態系があります。そして、その上で人の暮らしや営みが形成され、互いに相互作用しあうことでその場所の「風景」がつくられています。近年では、“ネイチャーポジティブ by2030”が世界的な共通認識となる等、ますます自然環境や生態系の重要性が増しつつあります。“自然環境”や”生態系”は、「風景」を考える上でも、これまで以上に重要なキーワードとなってくるでしょう。本サロンでは、自然環境や生態系という視点から業務に携わる機会の多い技術者からの話題提供を行いつつ、みなさんと風景のとらえ方や風景デザインで大切にすべきこと等についてディスカッションしたいと思います。

[日　時]　令和 5 年 12 月 19 日 (火) 18:30 ～ 20:30
[場　所]　リノベーションミュージアム冷泉荘　B 棟 1 階
福岡県福岡市博多区上川端町 9-35
[参加費]　風景デザイン研究会　正会員・賛助会員・学生　無料
上記以外　有料（1,000 円）
[CPD]　建設コンサルタンツ協会 CPD 認定プログラム 2.0 単位

[プログラム]

18:30 ～	開会
18:30 ～ 19:00	「河川環境デザインにおける風景のとらえ方」 林 博徳｜九州大学 准教授
19:00 ～ 19:30	「人も生きものも心地よい水辺の風景に向けて」 酒井 奈美｜西日本技術開発 ㈱ 環境部
19:30 ～ 20:20	フロアディスカッション
20:20 ～ 20:30	閉会（終了後に懇親会予定、希望者のみ）

[申込方法] QR コードもしくは URL 先の参加フォームからお申し込みください
https://forms.gle/t8cxXtGdpY11nhR97

[申込締切] 12 月 12 日（火）
[参加定員] 40 名

[主催] 風景デザイン研究会
[問合せ] 当研究会事務局 info@fukei-design.jp